

R 3年度花き消費者研修コミュニティガーデンコース第1回を開催しました

令和3年度花き消費者研修コミュニティガーデンコースの1回目を令和3年4月20日(火)に開催しました。講師は矢澤花育種株式会社の矢澤秀成氏、NPO 法人 Green Fields の吉川三枝子氏です。

最初に昨年度のコミュニティガーデンコースで宿根草、多年草を定植した南花壇に移動し、植栽している花についての説明と、雑草の種類と除草方法の説明を受けた後、草取りを実施しました。

研修後半には、矢澤氏に「花壇作りの基本」という内容でチューリップの春の管理方法、花の種類ごとの種まき時に注意したい発芽適温と覆土の方法、堆肥の作成方法等の講義をしていただきました。

ペチュニア、インパチェンス、ベゴニア、キンギョソウ等の発芽適温 20℃の種類はソメイヨシノが葉桜になった頃、発芽適温 25℃のアサガオ、ジニア等は八重桜が満開の頃に播種をすること、発芽に光が必要な種類は種を抑える程度に土を薄くかける、ビンカのように光を嫌う種類には厚く覆土をすることなど、管理のポイントの説明もありました。

また、花壇の土壌改良には堆肥と腐葉土、パーライトを投入すると良いとのこと、受講生からは栗の木の葉を腐葉土にしても良いかという質問がありました。腐葉土には栗の木は使用しても良いが、柿の葉等の抗菌性の葉は使用しないとのことでした。

最後に種まきの実習を行い、研修会を終了しました。



草取りのポイントを説明中



矢澤氏講演中